

池田町教育委員会 3月定例会の概要

日 時 令和8年3月24日（火） 午後3時～午後4時45分

場 所 教育会館 2階 学習室

出 席 者

委 員 山崎教育長、小澤教育長職務代理者、森泉委員、小林委員、渡辺委員

欠席委員 無

事 務 局 学校保育課長、学校保育係長、学校保育係長（保育）、池田保育園長、
生涯学習課長、生涯学習係長、公園・スポーツ係長兼総合体育館長、
文化財資料館長、学校教育指導員

書 記 学校保育係長

傍 聴 無

1 教育長あいさつ

来年度に向けてなど

2 報告

(1)教育長業務報告

2月19日（木） 校園長会 定例教育委員会 安曇野総合技術新校再編実施計画
懇談会

20日（金） 会染ライブ（鳥追い歌） 高瀬中学校3年より寄付受け取り

22日（日） 中信会長杯ラッジボール卓球大会（塩尻市）

24日（火） 義務教育のあり方検討委員会答申受け取り 岡麓遺墨会制作
ビデオ視聴 打合せ（生涯学習課） 要保護児童対策協議会
G I G A推進委員会

25日（水） 岡麓遺墨会DVD寄贈受け取り 美術館運営協議会

26日（木） 議会開会

27日（金） 議会

3月1日（日） 教職員ベテラン卓球大会合同練習会（松本市）

2日（月） 議会一般質問

3日（火） 議会一般質問 庁議

4日（水） 池田工業高等学校卒業式 予算決算特別委員会 総務福祉委員会

5日（木） 予算決算特別委員会 振興文教委員会 学校園運営協議会

9日（月） 中間教室職員との打合せ 議会事業説明会 町長との打ち合わせ
（総合教育会議）

11日（水） 県地域スポーツ文化芸術活動推進連絡協議会（長野市）

12日（木） 総合教育会議 ネイチャーセンターとの災害協定調印式
町長表敬訪問（池田小 佐々木選手 スキー）

13日（金） 議会閉会 打合せ（英語指導員）

- 15 日（日） 町一斉清掃
- 16 日（月） 池田小学校卒業式・学校長退任式 公民館運営審議会
- 17 日（火） 高瀬中学校卒業式
- 22 日（日） 日本精神療法学会理事会（佐久市）
- 24 日（火） 定例教育委員会

(2)池田町議会 3 月定例会について

(3)学校教職員の異動について

(4)諸報告（各係等から）

■学校

- 2 月 17 日（火） 池田小児童総会②
- 18 日（水） 会染小児童総会②・高瀬中高校公立前期選抜発表
- 19 日（木） 会染小 1・6 年参観日
- 20 日（金） 池田小 3・4 年参観日
- 26 日（木） 池田小 3 年社見・会染小 2 年セカンドステ②
- 3 月 3 日（火） 池田小・会染小 6 年生を送る会
- 5 日（木） 学校園運営協議会Ⅳ
- 10 日（火） 高瀬中高校公立後期選抜～11 日
- 12 日（木） 高瀬中 3 年薬物乱用防止教室
- 13 日（金） 池田小・会染小 3 学期終業式、高瀬中 3 年生を送る会
- 16 日（月） 池田小・会染小卒業式、離任式 高瀬中後期終業式

■認定こども園

- 2 月 19 日（木） 図書館読み聞かせ（延長）
- 25 日（水） 英語であそぼう
- 26 日（木） 参観日
- 3 月 3 日（火） 誕生会・ひな祭り
- 7 日（土） 床クリーニング
- 10 日（火） 図書館読み聞かせ
- 13 日（金） 避難訓練・保護者会三役引継ぎ会

■池田児童クラブ・会染児童センター

- 2 月 17 日（火） お話出前サービス(池田)
- 24 日（火） お話出前サービス（会染）
- 3 月 4 日（水） 放課後子ども教室最終日・お楽しみ会（池田・会染）

■文化財・記念館

- 2月19日(木) 令和7年度 博物館等関係職員研修 於・県立歴史館 2日間
26日(木) 池田小学校3年生、文化財資料館来場 社会科見学 28名
2月14日(日) 「子ども・大人がつくる詩短歌俳句」公募作品展 於・かえで
～3月1日(日) 作品数530点 投票者数63名(内、審査員10名 無効1名)

■公民館

- 2月20日(金) ポレポレ 寒いのでちやら
21日(土) 男女共同参画映画上映会 日日は好日
25日(水) 美術館・クラフトパーク運営協議会
3月7日(土) 将棋・麻雀大会
9日(月) 指定管理者議会挨拶
11日(水) 大北公民館館長主事会
13日(金) 大北地方子ども会育成連絡協議会第5回役員会
16日(月) 公民館運営審議会

■図書館

- 2月17日(火) 池田児童クラブお話出前サービス
18日(水) 音読教室／放課後子ども教室(池田小)
19日(木) ぶっくかふえ・いけだ／町内図書館司書連携会議／池田保育園
延長お話出前サービス
21日(土) 大人のための読書会／まちとしょクラフト講座「フェルトでつ
くるおひなさま」
24日(火) 会染児童クラブお話出前サービス
25日(水) 放課後子ども教室(会染小)
28日(土) 最終土曜日はまちとしょ絵本の日「おはなしでてこ～い!!」
3月2日(月) 安曇養護学校お話出前サービス
4日(水) にこまるお話出前サービス
9日(月) 安曇養護学校お話出前サービス
10日(火) 池田保育園お話出前サービス
11日(水) 音読教室／ちいさいおともだちのおはなしでてこ～い!!
13日(金) ブックスタート
15日(日) まちとしょクラフト講座「モールドールをつくろう!」

■総合体育館

- 3月1日(日) 池田町杯ママさんバレーボール大会 中信地区10チーム
12日(木) 町長表敬訪問 佐々木哲平 池小6年
ジュニアオリンピックカップジュニアスキー大会に出場

3 4月の行事予定

教育長及び各係長等から説明があった

4 議事

議案第1号 池田町中間教室設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

→ 学校保育係長より説明

→ 異議なく承認された

議案第2号 池田町教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について

→ 学校保育係長より説明

→ 異議なく承認された

議案第3号 池田町教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

→ 学校保育係長より説明

→ 異議なく承認された

議案第4号 池田町立美術館運営方法検討委員会設置要綱の制定について

→ 生涯学習係長より説明

(教育長) 再任は妨げないということは、2年目もあり得るかもしれないということですか。

(生涯学習係長) こちらの予定では1年間だけの予定ですが、万が一延びてしまうということがあった場合に、引き続きお願いする可能性があるということで、規定の上では再任を妨げないという文章を設けさせていただいております。

(渡辺委員) 委員10人以内ということは、10人より少なくなる場合もあるということですか。

(生涯学習係長) こちらとしては10人で予定しておりますが、それより少ない人数ということもあるかもしれないためです。

(小澤教育長職務代理者) 再任を妨げないということですが、設置は一応1年だけの予定で、提言をまとめるということでよろしいでしょうか。

(生涯学習係長) そうです。

→ 異議なく承認された

5 協議事項

(1) 指定学校変更申立の許可について

→ 学校保育係長より説明

→ 異議なく承認された

(2) 義務教育のあり方検討委員会の答申を受けて

→ 教育長より説明

(教育長) 答申を受けて、論点整理というか、まず基本的な立場の確認をさせていただきたいなと思います。まず答申を尊重するという立場でいいかどうか。答申を最大限尊重するという立場で教育委員会が審議するという事でよろしいでしょうか。

(全教育委員) 了承

(教育長) 答申は3点出ていました。児童生徒の減少への対応と、学校の教育活動と学校の教育環境です。教育活動と教育環境については、これは書いてあるとおりでと思います。特に教育活動は今までの保小中15年プランを積極的に進めてきたんですけども、それを今後ちゃんと活かして続けていってほしいというのは趣旨に書かれていると思いますし、教育環境については、必要なものはちゃんと整備していくということでそれは当たり前だと思われるんですね。そうすると、多分地域の方々も一番心配をして一番関心を持たれているのは、この児童生徒の減少への対応というところだと思うんですけども、これについてここでどんなふうに考えていくかということなんですが、一応答申を尊重ということなので、当面2校体制を維持するという事なんです。ただ、その当面というところを我々としてはどう考えるかということを議論した方がいいかと思いますが、今日は論点整理を中心にやりたいと思います。

それともう一つは、町民対象の意見交換、意見交換会のようなものを教育委員会が主催でやる必要があるのかどうか、そこら辺も腹を決めなきゃいけないいうことを思っています。統合再編成することを前提とした検討組織を立ち上げると書いてありますが、そのタイミングをいつにするのか、さらには不測の事態が生じた場合は教育委員会が決断するみたいな書き方になっていますので、その辺でどう我々が決断していくのかということ、今の時点でどう考えるのかという辺りもしっかりこの中で話をしたいなと思います。以上を踏まえて、今日は思っていることを言っていただけでいいかなと思っています。ご意見ください。

(森泉委員) 町長が生まれてくる子どもの人数だけでなく、途中から転入してくる子どももいて増えることもあると言っていたので、それも踏まえて減少する事態が起こったときに組織を立ち上げたらどうか。

(小澤教育長職務代理者) 私は反対です。町長が言われるように途中で入ってくることはとても嬉しい事実ですが、ある程度これからは減るだろうということを予測をしていくのがこの出生率だと思います。私としては、2年とか3年とか準備期間を持って、蓋を開けてみたら人数が多かったから具体的には次の年になってもいいと思う。これはかなりの準備が必要で、それが具体的なものと場所とか、そういうことも含めての議論は本当に大変だし、保育園のときも、結局みんながいいよってというような形では絶対まともらないので、ちゃんと納得してもらえそうな詰めた形で持っていくとしたら、準備期間はやっぱり2年とか3年は必要だと思う。教育長もこの間おっしゃったけど、人数が少ないからいけないっていうんじゃないくて、少なくともなかなか良い教育ができるよってというような考え方だってあるよって

こともおっしゃったんだけど、私はこれから社会に出ていくときに必要なことは、自分がしっかり確立できていることと、それから他の人とちゃんとコミュニケーションを取ってやっていける社会性みたいなものがすごく必要になってくるかなと思います。自分とは違うものに対して、ちゃんと対処していけるだけの力をつけるという意味では、10数人のところでの人間関係をずっとやっていくよりは、やはり多くの色々な人たちと、多様性ということも考えれば必要じゃないかなと思うので、どういう形になるかわからないけれども、ある程度の人数を子どもたちが常に感じていられるような、そういう学校にしたいなというふうに思っています。なので予測が働く範囲でそのときに考えるんじゃないくて、そういうふうになりそうだからここから考えようというふうにする方が私は必要だなと思っています。

(小林委員) 私はこの答申を尊重するので、統合再編を前提とした組織なので、統合再編をする年から逆算して、今小澤先生が言われたとおり、2年か3年にそれに対してその組織が話し合うので、そのスケジュールをきちんと決めておいた方がいいと思うんです。なので、多分出生数からその辺の年が割り出されてくると思うので、この人口減少というか児童数が減ってきてこの数字に値する後の2～3年の変動を予測できれば、この事態が起きてからスタートした方がいいか、起こるであろうときにスタートすればいいかわかるんじゃないかと思うので、ある程度その方針が見えてきたときに、先の数年を見て、この間を3年で終わりにしようとなれば、ここでもうこの事態が予想されたらスタートしようみたいなところを決めておけばいいのかなと思います。どこでスタートしたいかだと思います。

(渡辺委員) 私も、その統合っていうことがゴールとしてあるとすれば、やっぱりどこかの段階で立ち上げるのを決めた方がいいと思うんですけど、それがどのくらい準備期間がいるかっていうのがちょっとわからなくて、2年、3年でいけるのかどうか。大町市も話が出てからすごい時間がかかったような気がするんですけど。準備しなきゃいけないことがたくさんあると思うので、私はやっぱり切羽詰まった段階で立ち上げるよりも、ある程度見えてきたり、予測の段階で早めに立ち上げて準備をして、もしそれでそうならなかったら準備はできてるけど遅らせるっていうことでもいいのかなというふうに思って、やるなら早めにスタートした方がいいかなというふうには思います。

(森泉委員) 人数は町民の人が見ますよね。これだっというふうになったときから、そこからスタートして2年、3年かかる。だから、少し延びるのかなって思うんですけど。準備期間が必要だろうっていうお話なので、私は目に見えてその数字的に出たときに、そこから準備を始めるのは遅いってことになるんでしょうか？今日の新聞を見ても少人数の特徴のある学校を作るっていう方向に色々ところが向いてきそうな気がして、学校をどちらか閉じてしまうと、後でもう一つ残してこういう特徴のある子どもたちを受け入れて教育していくっていう学校が必要な感じにもなりそうな気がします。町民とか地域の人が納得するところの部分で、数字っていうのはすごく大事だと思う。

(小澤教育長職務代理者) 数が減ってきてるっていうことは、町民がかなりのパーセントで知ってると思うんですよ。今、減っちゃってるって。それで出生数がどの

ぐらいってというようなことをじわじわと聞くと、もうどんどん減ってるなということで、私の知っている範囲でも、義務教育のあり方検討委員会に出席している委員さんのように教育の理念まで考えて言ってるわけではない、ごく一般のおじいちゃん、おばあちゃんも含めてなんですけど、こんなに減ってきてると学校を一緒にするっていうことが、そんなに抵抗のあることではないってというような、非常に浅いレベルでね、考えて、抵抗があるってというようなことはないんじゃないかなと思います。逆に教育のあり方とか、どういう教育をしていくかっていうところで、そっちの方がきっと第一で、大きくなったことで大丈夫かというふうになってくるんじゃないかと思うんだけど、ある程度の大きさにするっていうことではなくてさっきお話したように、色々な人、多様性などを見たり聞いたり、体感していくってというのがやっぱりある程度の人数がいた方ができるんじゃないか。いろんな特性を持った子どもたちとか、例えば1週間に1回しか来れないっていうのだとしたら、そういう空間とか場所を学校全体の中で作ればいいんじゃないかと私は思っています。そのときにインクルーシブなどんな子がやってきてもガチャガチャ混じっていったというふうに、狙いはそういうふうにしていきたいなと思っているけれども特別支援だけっていうふうにするんじゃないくて、特別支援の子どもたちを受け入れられるような、学校体制っていうのもこれからは考えていかないと、とてもじゃないけどやりきれない。高瀬中が支援学級が5クラスですよ。そういうふうになってきたとしたら、どんなふうに特性っていうコミュニケーションをとれるような学校にしていくっていうことを一応前提とした上で、理想論なのかもしれないけれど、ある程度の現状って私は大事だと思います。

(森泉委員) 地域の人が学校が基準になっている。いずれ閉じるときがきても納得するよう慎重に、こういうふうに決めた数字があって、そして色々そこから考えてということだと思います。

(小澤教育長職務代理者) 小さい学校だから、コミュニケーションが使えないと思っているわけではない。広津小学校の話を聞くと、結局は自己の確立ができた自分に自信を持てて、対応できる力が多い少ないに関係なく幸せな生活ができたとは思いうんだけど、今のよう環境の中で同じようなことができるのかなっていう。八坂の4人しかいないクラスの授業を見せてもらって、すごく良かったんですよ。でもその子たちが、今度は30名の中にポンと入ったときに、その力を発揮できるのかなっていうのが、すごく良かったといってこのままでいいのかなっていうのは、どこかで不安もあったりしたんですよ。そういうことも含めると、大きい中から小さい空間を作っていくことはできないことはないけれども、小さい中で大きい集団を求めるというのは、なかなか難しいかなと思っていることが一つと、それを見越して準備しているよっていうことは、町の人たちにも納得はしてもらえないかなっていうふうに思っている。それは保育園のことがあるので、いつも頭にあります。

(森泉委員) 今日は意見を出し合うということで、またそれぞれ考えてくるということでもよろしいですか。

(教育長) 今日はどういうことが問題になっているかを共有したいということで、論

点整理をさせていただいたので、今のあたりが一番の問題だと思います。他のことは納得ができる、それは大事にしていきたいと思います。情報ですが、私が大町一中の校長やっていたとき、今からもう7～8年前に、大町市が学校のあり方検討委員会を立ち上げました。私は委員でした。それが終わった後で、今度は再編統合の検討委員会が立ち上がりました。それは1年間で、私は南小の校長になったときだった。中学校の統合までに検討委員会から3年で、小学校は来年統合ですから6年かかっています。中学がなぜ早かったかという、仁科を使うことが早く決まったからです。小学校がなぜ延びたかという、西小をどうするかという問題が最後まで解決しなかった。他は結構早く決まりましたが、西小を推してる人たち、西小学区の人たちが、西小に小学校を残せと最後まで言っていたため、小学校の統合が結構その手間があって、最終的に一中に持っていくってことになったということでした。そのくらいやっぱり手間がかかるかなと思っていますが、池田はどうなるのかよくわからない。考えられることとしては校舎をどうするのか、どちらかを使うのか、新しいのを建てるのかという。新しく建てるということは、これはもう町としてはすごい決断なので、どうするか。ちょっと考えにくいだろうなと。そうするとどちらかの学校に持っていくということは、これは綱引きが始まるから、そこはどうなるか。信濃教育という雑誌に掲載されていますが、本当にここへきて統廃合が進んでいることは事実です。だけどその一方で、県で教員を配置してくれるんだから、それ使ってやれるだけのことをやるっていう、統合に向かう市町村がある一方で、ギリギリまで頑張るっていう方向を模索している市町村も確かにある。それをどう考えるかなってところです。

今日は委員さんの所感の発表みたいなものですから、またやりますのでお願いします。ただし、半年から1年で結論を出すと私は言っているの、それは変えられません。だから来年度中には教育委員会としての立場を出したい。ある程度ここでやらないと、町民を交えて何かやると言っても、支離滅裂な感じになってしまう可能性があるの、ここの意見がある程度出尽くした状態で町の人たちの意見を聞きましょうか、みたいなことをやる必要があるのかなのか、それは改めてまた考えていくというようなことでいいですか。

(全教育委員) 了承

(教育長) 次回もまたやりますので、また色々考えていきたい情報を仕入れてきたりしてきてください。

(小林委員) 教員の確保は全然大丈夫なんですか。

(教育長) 長野県の倍率は下がってはいますが、まだまだそこまで深刻ではないです。

6 後援依頼について

(1) 後援承認

①2026 春季フェスティバル大会・第26回池田町長杯マレットゴルフ大会・第26回
てるてる坊主マレットゴルフ大会・第26回池田町マレットゴルフ連盟会長杯大会・
初冬フェスティバルマレットゴルフ大会・2026 打ち納めマレットゴルフ大会

②第61回記念 池田町弓道大会(一般) ③弓道教室 ④第45回全国夏期セミナー

長野大会in松本 ⑤第 33 回池田美術協会展

→ 学校保育係長より説明

→ 異議なく承認された

7 その他

8 閉会